

平成30年度予算(案)のポイント

平成30年2月13日

小樽市財政部

1 予算編成のポイント

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある。

※ 前年度比は、平成29年度当初予算額との比較

○主要事業

総合戦略に掲げた「訪れる人を魅了し、暮らす人には優しい、市民幸福度の高いまち」の将来都市像の実現に向けた重点的な施策の展開

あずましい暮らしプロジェクト

〔 特定空家等で危険度・緊急度が高い不良住宅の除却費用の助成、地域公共交通網形成計画の策定、ナトリウム灯・無電極灯などの既存街路防犯灯のLED化経費の助成など 〕

樽っ子プライド育成プロジェクト

〔 第3子以降の保育料完全無料化、こども医療費助成事業等の小学生までの入院医療費への助成拡大、小学校の英語教育推進のための外部講師の派遣など 〕

にぎわい再生プロジェクト

〔 厚生労働省の実践型地域雇用創造事業を活用して地域の企業活動を活性化し雇用創出を目指す協議会の運営を支援、ロケツーリズムによるシティプロモーション事業への補助、スウェーデンの絵画や彫刻などの現代アート展覧会の開催への補助など 〕

あんしん絆再生プロジェクト

〔 水難救助体制の整備、普通救急自動車を高規格救急自動車へ更新配備、子宮頸がん自己検査キットの支給及び検査経費など 〕

○将来を見据えた諸課題への対応

公共施設再編計画や個別施設計画の策定経費、新市民プールと総合体育館の複合施設整備に向けた経費、既存施設の老朽化対策など

○財政健全化に向けた取組を、引き続き継続

必要性・有効性を検証し、事業を厳選

2 予算規模

※ 以下、《 》についてはH29当初予算+除雪費(3定補正分)との比較

① 一般会計	559.1億円	(前年度当初予算比	+6.4億円	+1.2%)	《▲6.6億円 ▲1.2%》
② 特別会計	346.4億円	(前年度当初予算比	▲16.5億円	▲4.5%)	
③ 企業会計	245.3億円	(前年度当初予算比	▲1.4億円	▲0.6%)	
全会計	1,150.8億円	(前年度当初予算比	▲11.5億円	▲1.0%)	《▲24.5億円 ▲2.1%》

3 収入状況

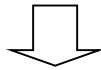
○ 市税は、前年度とほぼ同額で見込む。地方譲与税や地方消費税交付金などの交付金については、増額が見込まれる。

○ 実質的な地方交付税については、国の地方財政対策に基づき29年度決算見込額より減で見込む。

なお、特別交付税は前年度同様に当初予算で計上。

※実質的な地方交付税・・・普通交付税+臨時財政対策債

○ 平成30年度も引き続き、予算編成に財源不足が生じている。



○ 過疎債ソフト分の充当及び財政調整基金の取崩しなどにより、収支均衡予算を編成。

①	一般財源収入	335.3億円（前年度当初予算比 ▲1.5億円 ▲0.4%）						
		<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">市税の増</td> <td style="text-align: right;">+0.3億円</td> </tr> <tr> <td>臨時財政対策債の減</td> <td style="text-align: right;">▲2.8億円</td> </tr> <tr> <td>地方譲与税・交付金の増</td> <td style="text-align: right;">+0.9億円</td> </tr> </table>	市税の増	+0.3億円	臨時財政対策債の減	▲2.8億円	地方譲与税・交付金の増	+0.9億円
市税の増	+0.3億円							
臨時財政対策債の減	▲2.8億円							
地方譲与税・交付金の増	+0.9億円							
②	必要な一般財源	355.4億円（前年度当初予算比 +9.8億円 2.8%） 《▲2.1億円▲0.6%》						
③	財源不足額	▲20.1億円（前年度当初予算比 +11.3億円） 《▲0.6億円》						
④	財源対策	過疎債ソフト分の充当（2.2億円）、 財政調整基金の取崩し（17.9億円）により、 収支均衡予算を編成						

平成30年度予算編成の状況(一般会計・一般財源ベース)

※ 各項目で四捨五入しているため、
合計や増減額が合わないことがある。

	平成29年度	平成30年度	
一般財源収入 (財源対策前) (A)	336.8	335.3	+増・▲減 [単位:億円] ▲1.5 (▲0.4%)
	↓	↓	
歳出充当一般 財源必要額 (B)	345.6 《357.5》	355.4	+9.8 (+2.8%) 《▲2.1 (▲0.6%)》
	↓	↓	
財源対策前の 財源不足額 (A)-(B)	▲8.8 《▲20.7》	▲20.1	+11.3 (財源不足額が増) 《▲0.6》
	↓	↓	
(財源対策) 過疎債ワト 財調取崩	2.4 6.4 《18.3》	2.2 17.9	←21.6 (29.5定後財調残高)
	↓	↓	

※ 主 な 増 減

- 市 税 +0.3
- 譲与税・交付金 +0.9
- 臨時財政対策債 ▲2.8

※ 主 な 増 減

- 人件費 +2.4
- 扶助費 ▲0.9
- 公債費 ▲2.9
- 維持補修費 +10.6
- 繰入金 +0.8

過疎債ワト分充当及び財政調整基金
の取崩しにより収支均衡

平成30年度一般会計予算(案)の概要

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある。

※ 前年度比は、平成29年度当初予算額との比較

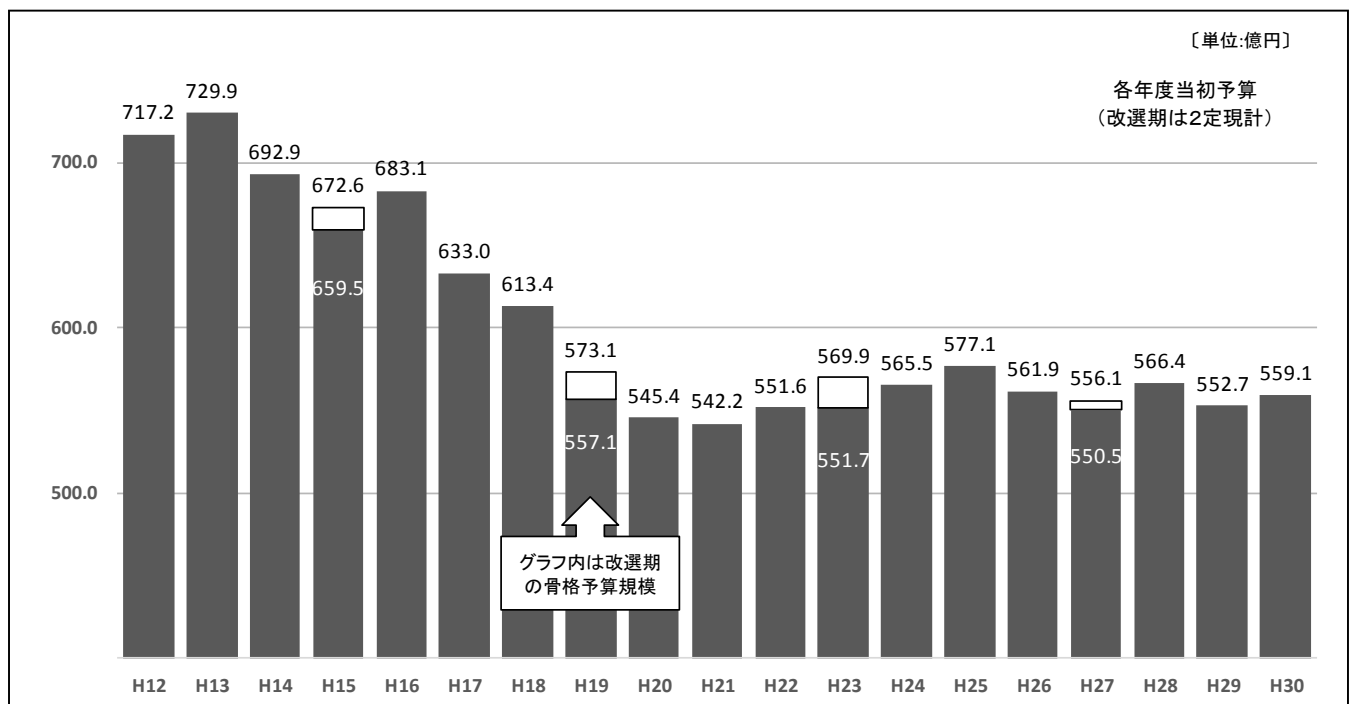
1 予算規模 559.1億円（対前年度当初予算比 6.4億円）

《▲ 6.6億円》

	平成30年度	平成29年度	増減	増減率
一般会計	559.1億円	552.7億円	6.4億円	1.2%

《565.7億円》 《▲6.6億円》 《▲1.2%》

一般会計予算規模の推移



※予算規模 最大…平成11年度 749.1億円

2 歳 入

○市 税 132.2 億円 (対前年度当初予算比 +0.3 億円) [単位: 億円]

区 分	平成30年度	平成29年度	増減	伸び率	
市民税	個人	43.0	42.5	0.5	1.2%
	法人	14.2	13.0	1.2	9.2%
固定資産税	53.7	54.2	▲0.5	▲0.9%	
都市計画税	10.1	10.4	▲0.3	▲2.9%	
たばこ税	9.2	9.9	▲0.7	▲7.1%	
その他	2.0	1.9	0.1	5.3%	
合 計	132.2	131.9	0.3	0.2%	

○譲与税・交付金 29.6 億円 (対前年度当初予算比 +0.9 億円)

(主な増減)

地方消費税交付金 (+0.8 億円)、配当割交付金(▲0.1 億円)、株式譲渡所得割交付金(+0.1 億円)

○地方交付税 157.2 億円 (対前年度当初予算比 +0.1 億円)

○臨時財政対策債 16.3 億円 (対前年度当初予算比 ▲2.8 億円)

[単位: 億円]

区 分	平成30年度	平成29年度	増減	伸び率
地方交付税	157.2	157.1	0.1	0.1%
普通	148.4	148.7	▲0.3	▲0.2%
特別	8.8	8.4	0.4	4.8%
臨時財政対策債	16.3	19.1	▲2.8	▲14.7%
合 計	173.5	176.2	▲2.7	▲1.5%

※ 平成30年度の普通交付税は、29年度決算見込額(151.2 億円)より2.8 億円減で計上

※ 平成30年度の臨時財政対策債は、29年度決算見込額(16.6 億円)より0.3 億円減で計上

○国・道支出金 146.1 億円 (対前年度当初予算比 ▲1.0 億円)

(主な増減)

《▲1.7 億円》

国庫支出金 校舎等整備費負担金(▲5.7 億円)、社会資本整備総合交付金(+2.8 億円)《+2.1 億円》、生活保護費負担金(▲0.6 億円)、認定こども園施設整備交付金(+1.0 億円)、保育所等整備交付金(+0.5 億円)

道支出金 国民健康保険基盤安定等負担金(▲0.3 億円)、生活保護費負担金(+0.6 億円)

○市 債 15.0 億円 (対前年度当初予算比 ▲5.5 億円)

(主な増減)

※臨時財政対策債を除く

消防施設整備事業債(▲0.5 億円)、義務教育施設整備事業債(▲7.1 億円)、港湾事業債(+1.1 億円)、民間保育施設等整備支援事業債(+0.7 億円)

譲与税・交付金

市税	29.6	地方交付税	臨時財政債	20.1	国・道支出金	市債 (過疎ソフト・臨時債除く)	諸収入
132.2		157.2	16.3		146.1	12.9	30.0
← 一般財源 335.3 (財源対策前) →				過疎ソフト充当・財調基金繰入 (財源対策)		使用料・手数料・負担金など	

3 歳 出 (経費別)

○人 件 費 92.6 億円 (対前年度当初予算比 +2.4 億円)

(主な増減)

退職手当等(+2.0 億円)、共済組合事業主負担金(+0.2 億円)

○扶 助 費 174.6 億円 (対前年度当初予算比 ▲1.0 億円)

(主な増減)

生活保護扶助費(▲0.8 億円)、自立支援医療(更生医療)給付費(▲0.6 億円)、訓練等給付費(+0.4 億円)
障害児給付費(+0.5 億円)、児童手当経費(▲0.6 億円)

○公 債 費 52.4 億円 (対前年度当初予算比 ▲2.9 億円)

(主な増減)

市債元金(▲2.0 億円)、市債利子(▲0.8 億円)

○負担金補助
及び交付金 52.0 億円 (対前年度当初予算比 +2.5 億円)

(主な増減)

後期高齢者医療療養給付費負担金(▲0.3 億円)、北しりべし廃棄物処理広域連合負担金(+0.9 億円)、
銭函駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金(+0.4 億円)、街路防犯灯 LED 化推進事業費(▲1.0 億円)
民間保育施設等整備支援事業費補助金(+2.4 億円)、周産期医療支援事業費補助金(+0.6 億円)

○維持補修費 19.4 億円 (対前年度当初予算比 +13.3 億円)

《+0.3 億円》

(主な増減)

除雪費(+12.7 億円)《▲0.3 億円》、トイレの洋式化等整備事業費(+0.6 億円)

○建設事業費 18.4 億円 (対前年度比 ▲10.6 億円)

(主な増減)

校舎等改築事業費(▲12.3 億円)、トイレ改修事業費(小学校)(▲1.0 億円)、橋りょう長寿命化事業費(+2.0 億円)、
機動力増強・近代化事業費(▲0.8 億円)、小樽港保安施設改良事業費(+1.1 億円)

○繰 出 金 71.7 億円 (対前年度比 +0.6 億円)

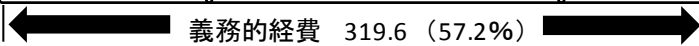
(主な増減)

港湾整備事業(+0.7 億円)、後期高齢者医療事業(+0.4 億円)、病院事業(+1.0 億円)、住宅事業(▲0.5 億円)、
下水道事業(▲0.5 億円)、国民健康保険事業(▲0.9 億円)、介護保険事業(+0.3 億円)

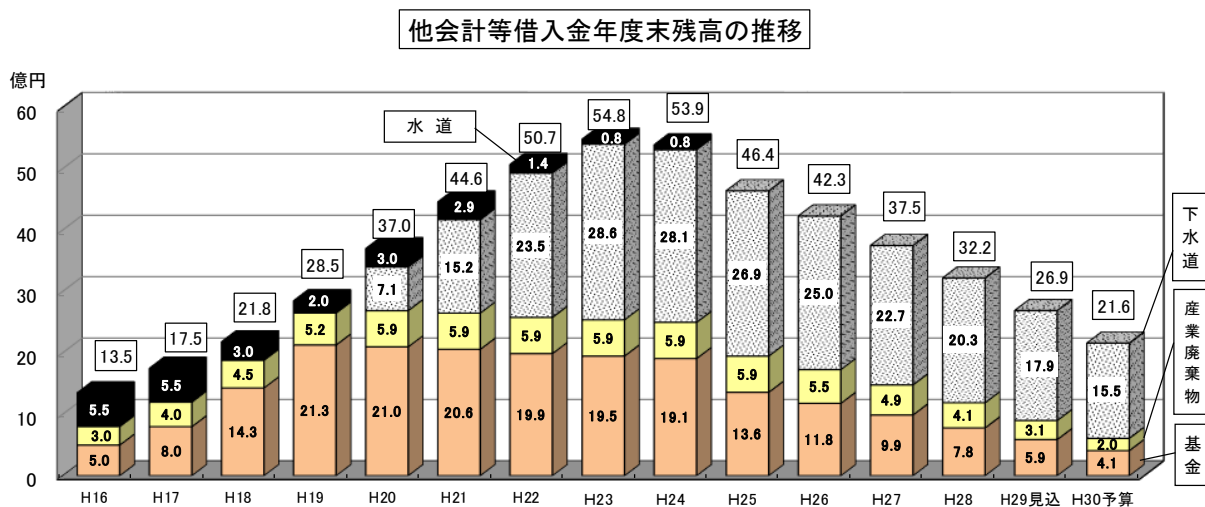
○そ の 他 78.0 億円 (対前年度比 +2.1 億円)

(主な増減)

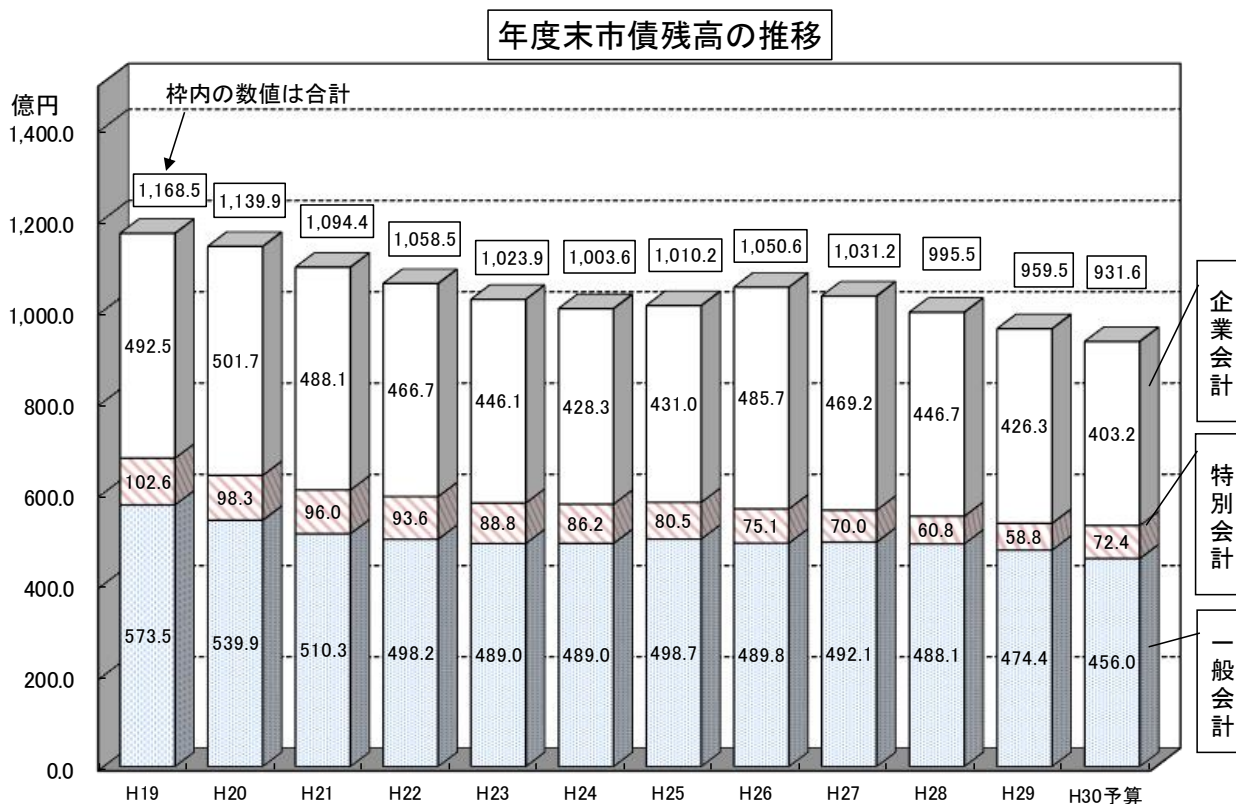
港湾計画改訂事業費(▲0.6 億円)、ふるさと納税関係経費(+0.3 億円)、
市長及び市議会議員選挙準備費(+0.2 億円)、中小企業経営安定健全化資金貸付金(+2.1 億円)

人件費 92.6	扶助費 174.6	公債費 52.4	負担金 補助・ 交付金 52.0	建設 事業費 18.4	繰出金 71.7	その他 78.0
 義務的経費 319.6 (57.2%)			維持補修費 19.4			

4 他会計等借入金の残高
平成30年度末の残高見込み 21.6億円（対前年度比▲5.3億円）



5 市債残高（全会計）
平成30年度末の残高見込み 931.6億円（対前年度比▲27.9億円）



※市債残高 最大…平成11年度 1,424.0億円

※簡易水道事業は、平成29年4月に特別会計から企業会計へ移行